

お知らせ

日本の美意識「素（そ）」

2015年11月21日(土)、赤木明登氏(塗師)、木村宗慎氏(茶道家・芳心会主宰)、鞍田崇氏(哲学者・明治大学准教授)をお招きし、素の美-日本の美意識-と題して、秋季シンポジウムを開催いたしました。

○講演1「形の素(かたちのもと)」

塗師の赤木明登先生に塗師として漆の器からみるかたちだけでなく、日常生活の中でみえる素についてお話しいただきました。

○講演2「見立て・取合わせ・しつらえ-清潔で簡素なもてなしとは-」

茶道家の木村宗慎先生に人と人でもって成り立つもてなし・取合わせ・しつらえの考えを茶湯の歴史と共にお話しいただきました。

○講演3「素であること」

哲学者の鞍田崇先生にいとおしさに通じる素についてお話しいただきました。

○パネルディスカッション

生活美学研究所研究員の藤本憲一教授を進行役に加え、客席も交えた活気にあふれた討論となりました。日本の美意識と考えられる「素(そ)」を多角度からみていき、日常生活から民藝、茶道、漆器、きのこに至るまで、私たちの生活の中に根づいている素を簡素な美としてだけではなく領域へ再発見したような貴重なシンポジウムとなりました。

